

## 瀬戸内海関連三プロジェクト合同シンポジウム

### 美しく恵み豊かな瀬戸内海を目指して

環境研究総合推進費 S-13 テーマ 1&5 「持続可能な沿岸海域実現を目指した沿岸海域管理」  
地域適応コンソーシアム事業中国四国地域事業  
宇部工業高等専門学校研究推進モデル事業「浅場の保全・再生」

#### 【開催目的】

瀬戸内海環境保全特別措置法が平成 27 年 10 月 2 日に一部改正され、「瀬戸内海の環境の保全」について、水質が良好な状態で保全されるとともに、生物の多様性及び生産性が確保されるなど、瀬戸内海の有する価値や機能が最大限に発揮された「豊かな海」とする考え方が示されました。流域人口 3000 万人をかかえ、気候変動による環境変化が危惧される中、将来にわたって瀬戸内海の環境を保全しつつ、高い生産性を維持するにはどうしたらいいのでしょうか。

本シンポジウムは、瀬戸内海の環境保全・再生、持続的な利用を目指した三つのプロジェクトが合同で開催します。瀬戸内海の過去から現在に至る変化を見据え、未来を予測する中で、今後の瀬戸内海の管理の在り方について、意見交換していきたいと思えます。

主 催：環境省環境研究総合推進費 S-13 プロジェクトチーム  
環境省地域適応コンソーシアム事業中国四国地域事業  
宇部工業高等専門学校

日 時：2018 年 10 月 15 日（月）13 時 00 分～17 時 45 分（開場：12 時 45 分）

場 所：サテライトキャンパスひろしま 501・502 大会議室（地図裏面）

〒730-0051 広島県広島市中区大手町 1 丁目 5-3

参加費：無料（定員：200 名）

#### 【プログラム】

13：00～13：05 開会あいさつ（西嶋 渉）

#### 【三事業の紹介】

13：05～13：20 S-13 プロジェクトの概要

西嶋 渉 広島大学

13：20～13：35 地域適応コンソーシアム事業の概要

畑中 直樹（株）地域計画建築研究所（アルパック）

13：35～13：50 研究推進モデル事業「浅場の保全・再生」の概要

高田 陽一 宇部工業高等専門学校

#### 【瀬戸内海の過去・現在・未来】

13：50～14：30 瀬戸内海の水環境と生産は過去からどう変わったのか

梅原 亮 広島大学環境安全センター

14：30～15：10 地球温暖化によって未来の瀬戸内海はどうなるのか

柴田 淳也 広島大学環境安全センター

15：10～15：25 休 憩

#### 【浅場再生・創出がもたらす未来】

15：25～15：50 大規模浅場造成による生態系の創出

杉本 憲司 宇部工業高等専門学校

15：50～16：15 浅場生育基盤造成における法的基準の現状と課題

濱本千恵子 宇部工業高等専門学校

16：15～16：40 沿岸域の栄養塩循環に果たす藻場・干潟域の機能

朝日 俊雅 香川大学瀬戸内圏研究センター

16：40～17：05 藻場の機能を活用した栄養塩管理の方向性

西嶋 渉 広島大学環境安全センター

17：05～17：25 総合討論

17：25～17：30 閉会あいさつ（三谷知世）

【会場へのアクセス】



JR 広島駅から 路面電車「広島港行き」本通り下車（20分）徒歩5分  
 「西広島行、江波行、宮島行」紙屋町西下車（20分）徒歩3分

その他の経路および手段については、以下のウェブサイトをご参照下さい。

<http://www.pu-hiroshima.ac.jp/site/satellite/accessmap.html>

【参加申し込みについて】

参加ご希望の方は、下記の申込書に必要事項をご記入の上、広島大学 環境安全センター 下郡宛へメールまたはFAXでお申込みください。

\*定員 200名に達し次第、締め切らせて頂きます。

シンポジウム 参加申込書

お名前	所属	役職等	電話	E-mail

【お問合せ・参加申込先】（事務局）：広島大学 環境安全センター 下郡  
 TEL 082-424-6197 FAX 082-424-4351  
 Mail [shimog@hiroshima-u.ac.jp](mailto:shimog@hiroshima-u.ac.jp)